

「松山の授業モデル」とICT活用

松山市では、「主体的・対話的で深い学び」を目指し、「松山の授業モデル」を使って、授業改善を図っています。

<p style="text-align: center;">■ 学習課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> • 興味・関心、意欲が高まる課題を設定する。 • 実生活や社会とつながる課題を設定する。 • 見通し(ゴールやプロセス)をもてる課題を設定する。 • 思考力を高め、想像力を刺激する課題を設定する。 <p style="text-align: center; background-color: #c0392b; color: white; border-radius: 15px; padding: 5px;">習得・活用・探究</p>	<p style="text-align: center;">■ 交流し考える学習</p> <ul style="list-style-type: none"> • ねらいの達成につながるよう、形式的な交流や活動ではなく、明確な意図で行う。 • 様々な対話、交流、表現、体験活動等を取り入れ、多様な考えと出合う。 • 多様な考えを引き出すための問いや手立てを用意し、深い学びを追求する。 <p style="text-align: center; background-color: #27ae60; color: white; border-radius: 15px; padding: 5px;">交流・表現・体験</p>	<p style="text-align: center;">■ 学習の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> • 単元や題材など内容や時間のまとまりの中で、振り返る場面を設定する。 • 振り返りの視点、方法を明確にする。 • 学習の成果や自らの成長に手応えを感じ、他者と共に学ぶ価値を実感する。 <p style="text-align: center; background-color: #f39c12; color: white; border-radius: 15px; padding: 5px;">内容×方法</p>
--	--	---

この、「松山の授業モデル」に合わせて、次のように一人一台端末等のICT機器を積極的に活用することで、児童生徒一人一人に教科等で育成する資質・能力等を確実に育てていきましょう。

学習場面 (松山の授業モデル)	ICT活用例
<p style="text-align: center;">■ 学習課題の設定</p> <p style="text-align: center; background-color: #c0392b; color: white; border-radius: 15px; padding: 5px;">習得・活用・探究</p>	<p>① 学習の見通しをもたせ、興味・関心・課題意識を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> • 板書の代わりにタブレットの画面を大型提示装置に映し出すことで、子どもたちの様子を見ながら、分かりやすく説明できます。 <div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> • 大型提示装置に、写真の一部を隠して提示したり、同じ場所の変化を比較して提示したりすることで、興味・関心や課題意識を高めます。(理科の例) <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> • 大型提示装置に、吹き出しを付けた挿絵を提示することで、登場人物と同化させ、想像力を高めます。(国語の例) <div style="text-align: right;">  </div>

<p>■ 交流し考える学習</p> <p>交流・表現・体験</p>	<p>② 情報を収集・整理し、集めた情報を利用して自分の考えを形成する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習の時に、本とタブレットの両方を使うことで、多くの情報を集めることができます。メモの代わりに、後でまとめる活動につなげるために、本で調べた内容もタブレットのカメラで撮影します。(総合の例) ・教室から出て、資料になるものや、身の回りにあるものをタブレットで撮影して情報を集めます。(総合・理科の例) ・学習支援ソフトを使い、タブレットで撮影した写真にかき込むことで、自分の考えを形成していきます。また、相手に伝えるためにプレゼンテーションができるように、写真や考えをかいたカードを並べて、自分の考えをまとめます。(理科の例) <p>③ 考えたことを表現し、学びを共有する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かき込んだ考えや見つけたものの写真をタブレットの画面で見せて伝え合い、多様な考えに触れながら、自分の考えを深めます。(社会・理科の例) ・伝えた考えを基に、タブレットの画面にかき込みながら友達と話し合い、さらに考えを深めます。(理科の例) ・学習支援ソフトを使ってまとめた考えを、大型提示装置に映し出して発表し、全員で学びを共有します。(総合の例) ・自分の考えをタブレットの画面にかいたり、ノートをタブレットで撮影したりしたものを、大型提示装置で2画面や多画面で比較しながら考えを深めます。(理科の例) ・他校と遠隔でつながり、意見や感想の交流をして、考えを深めます。(国語の例)
<p>■ 学習の振り返り</p> <p>内容×方法</p>	<p>④ 学習の内容を蓄積したり振り返ったりする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容のまとめとして、デジタルドリルで、習熟度に合った問題に取り組み、学習内容を確認なものにします。(算数の例) ・学習支援ソフトに、撮影した写真や考えをかき込んだカードなどの単元の学びが蓄積され、学習を振り返ることができます。(理科の例)

